



## てらさき 雄介 プロフィール

1971年(昭和46年)生まれ。50歳。サラリーマンの家庭で育つ。横浜市立南瀬谷小学校、明治大学付属中野八王子中学・高校、明治大学政治経済学部卒業。衆議院議員秘書。相模原市議会議員(6年)。神奈川県議会議員(15年)。大学生の息子と2人暮らし。

**座右の銘** 他者に対して常に謙虚に

**尊敬する政治家** 藤井裕久元財務大臣  
尾崎行雄(相模原の旧津久井地域出身)

**好きな食べ物** 納豆、ハンバーグ、カレー、  
ラーメン、卵料理全般

**趣味** 旅行(世界数十カ国、47都道府県制覇まであと1つ)、楽しい宴会

**神奈川県内の好きな場所** 宮ヶ瀬湖畔、生田緑地、旧津久井町青野原、  
日本大通り、稲村ヶ崎 など  
33市町村、それぞれに良いスポットがあります。  
地元神奈川の魅力をアピールしていきます！

最新情報は  
こちら



LINE公式  
アカウント

**横浜事務所** 〒231-0016 横浜市中区真砂町2-25 関内中央ビル4階  
☎045-264-6007 ☎045-264-6009

**相模原事務所** 〒252-0239 相模原市中央区中央3-6-6 トーエイビル205号室  
☎042-751-3016 ☎042-751-3017

## 決起集会 開催決定!

6月19日(日)17:30~

情文ホール 横浜情報文化センター6階  
横浜市中区日本大通11 **どなたでも参加できます**

**参加  
無料**

てらさき雄介の決意の言葉、  
ぜひお聞きください!

オンライン  
配信予定  
youtube ライブ



参加申込は  
こちらから!

- ア ■ JR「関内駅」南口 徒歩10分
- ク ■ 横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口 徒歩10分
- セ ■ みなとみらい線「日本大通り駅」3番情文センター口 直結

# てらさき 雄介

立憲民主党  
神奈川県参議院選挙区

総支部長

ゆうすけ

# 実績がある。だから、目と体策がある。

県議15年

市議6年





就労対策 貧困対策

## 2 国民の命と暮らしを守るセーフティネットを立て直します

普通にサラリーマンをされていた方、シングルマザーの方からの悲痛な声

「コロナ禍の不景気に物価高、突然、会社が倒産、収入がなくなり生活が立ちゆかなくなった。まさか自分が」

「困っているのに助けてくれない。何のための政治なのか。政治家のための政治なのか」

「生活保護を受け始めたが、いつになったら元に戻れるか。子どもたちにこの貧困が引き継がれるのが怖い」

てらさき雄介が提言する具体策

- 必要な方が必要なときに利用できる就労・転職支援や職業訓練制度を創ります
- 生活保護の受給要件を見直し、権利としての活用を広げます
- コロナ禍に対する迅速・公平な事業者への支援を目指します
- 国民生活と経済再生の両立を図ります



子育て 教育 障がい者

## 3 一人ひとりの尊厳、子どもたちのいまと未来を本気で守ります

福祉の現場を支える皆さん、学校の先生からの声、厳しい現実がそこに

「45人の障がい者の方が命を落とし傷つけられた津久井やまゆり園の事件から5年、未だに差別の声は消えていない」

「子どもの貧困、いじめや虐待、その原因は社会全体にある。学校や児童相談所だけでは問題は解決できません」

「子どもたちに向き合う時間が足りない、書類やパソコンに向かうのが教育ですか」

てらさき雄介が提言する具体策

- 子育て・教育費の負担軽減を目指します
- 公教育の完全無償化を目指します
- 大学生の奨学金制度を拡充します
- 医療的ケア児の成長に応じた適切な支援を目指します
- 小児医療費助成及び児童手当の対象拡充と所得制限の撤廃を目指します
- 津久井やまゆり園事件を教訓とし障がい者のインクルージョン政策に取り組みます



外交 防衛

## 6 日本の安全、世界の平和について、基地の街、神奈川から声を上げます

多くの米軍基地を抱える神奈川県、基地と暮らす皆さんからの声

「ウクライナ戦争で一変した世界、日本の安全は大丈夫か」

「事故が起きててもコロナが広がっても私たちは何も言えない。声が届かない外国を抱える怖さ」

「敵基地攻撃、外国からは私たちの街が攻撃の対象になるということ、政治家はそれが分かっているのか」

てらさき雄介が提言する具体策

- ロシアによるウクライナ侵略の即時撤退を求めるとともに、戦争難民の支援を充実します
- 平和主義と専守防衛、非核3原則を遵守し、日米同盟を基軸とした現実的な外交・安全保障政策を推進し、領土・領海・領空を守ります
- 健全な日米地位協定への改定を目指します
- 唯一の被爆国として核廃絶をリード、核兵器禁止条約の批准に取り組みます



政治 立憲民主党

## 7 国民置き去りの政府与党の政治から日本を取り戻す「強い野党」を目指します

日本の政治に、立憲民主党に寄せる国民の皆さんの声

「野党第一党の立憲民主党がしっかりしないと政府与党が暴走する」

「立憲民主党は批判ばかりで提案がない」

「憲法は日本国民のものはずなのに、政治家が都合良く変えようとしている」

てらさき雄介が提言する具体策

- 政権の選択肢となり得る、強い立憲民主党をつくります
- 国民の皆さんとの対話を大切に、国民の声を誠実に代弁する政治を実践します
- 野党の大きな役目である行政監視を徹底、与党の政治を厳しくチェックします
- 憲法を守り、憲法による立憲主義の政治を実践します
- デジタル民主主義の実践、DXによる政治行政改革を進めます
- 立憲民主党は、責任政党として政府提出法案の80%以上に賛成し、165本の対案となる法律案を提出しています
- 国会議員の文通費の使い道を公開し、日割り支給の徹底など、仕組みの公正、透明化を進めます

対談

# 泉健太

立憲には  
てらさきがいる。

泉 てらさきさん長いご縁ですね。一緒にフィリピン視察を思い出します。あのとき私は浪人中、てらさきさんは相模原市議会議員だった。フィリピンの地方選挙の視察だったと思いますが、スモークマウンテンから見える貧困問題、太平洋戦争の遺骨問題など、いまにも繋がっている。懐かしいなあ。

てらさき 立憲民主党の代表になられた泉さん、感無量です。あの頃から泉さんはフットワークが軽かったですよね。今も変わらない。私も現場を大切に神奈川県議会議員として県内の隅々まで歩いています。そんな中で、コロナ禍、物価高騰などの影響を受けて、県民の皆さんの暮らしが苦しくなっている。特にひとり親家庭や障がいのある方など先の見えない不安でいっぱいなんです。なんとかしなければなりません。



# てらさき雄介が 受け止める **声** 7つの提言

## 徹底的に現場主義

21年間の地方議員としての活動の中で、誰よりも地域をまわり、地域の声に耳を傾け、地域課題を政策化してきました。  
国民の声が、強い野党をつくります。



医療 介護

### 1 誰もが必要なときに 必要な医療にアクセス できる日本を取り戻します

医療崩壊を経験した、コロナ感染患者、医療関係者の声

「容体が急変したら死ぬかもしれない。自宅療養と言われ、ひとりにされた時に恐怖を感じた」  
「医療の合理化を進めてきた政府与党が、コロナの大流行に対応しろという、ご都合主義では患者は救えない」  
「保健所はもう限界。電話を持つ手が上がらない。使命感だけではコロナ禍とは戦えません」

てらさき雄介が提言する具体策

- コロナかかりつけ医制度により医療への確実なアクセスを保証します
- 国産ワクチン・治療薬の早期の開発と普及を目指します
- 地域包括ケアシステムなど、医療と介護の連携を促進します
- 認知症の早期発見と、早期に医療に繋ぐ仕組みを作ります
- 出産関連医療費の無償化を目指します

8 働きがいも  
経済成長も

仕事 経営 産業

### 4 あらゆる仕事・働く力が ひとつになって時代を 拓く日本を目指します

長引くコロナ禍で廃業を迫られる商店経営者、中小企業経営者の声

「50年続けてきた商売、ひいきにしてくれたお客さんには申し訳ないが廃業を決めた。コロナには勝てなかった」  
「まん延防止措置や緊急事態宣言の繰り返し、営業を自粛しろと言うが、自分たちはこれで生きているんだ」  
「ゼロゼロ融資、ありがたいとは思いますが、借金は借金、返すあてのないお金をこれ以上借りることはできない」

てらさき雄介が提言する具体策

- コロナ禍で苦しむ事業者への協力金等を迅速かつ公平に支給するシステムを構築します。債務の減免を国の責任で実施します
- 雇用の安定と賃金の底上げを目指します
- 同一価値労働同一賃金の法制化を目指し、正規・非正規労働者の格差を是正します
- 中小企業の社会保険負担分を支援します
- グリーンイノベーションとデジタルトランスフォーメーション(DX)で新産業を創出します



災害対策 気候変動

### 5 いつ起こるか分からない 自然災害、対策はいます、 先送りを許しません

明日の安心安全を、水害の危険地域に住んでいる方、消防団員、若者の声

「100年に1度の災害が毎年起きる、これって1年に1度ということでは」  
「基準の見直しは来年。地震は今起きるかもしれないのに」  
「石炭火力発電所が建設される神奈川。大量に排出されるCO<sub>2</sub>は未来世代の生存を脅かすことになる」

てらさき雄介が提言する具体策

- 強力な防災・危機管理体制を確立するとともに、国と自治体との連携を強化します
- 水害対策の面から河川の流域管理を進めるとともに、治山事業を進め、地滑りや山崩れなどの山地災害防止に取り組みます
- 想定を上回る集中豪雨や「ゲリラ豪雨」災害に対応できるよう、都市水害対策を強化します
- 市民一人ひとりの防災意識を高めるため、防災教育を充実し、マイタイムラインの作成等、自助・共助の取組を促します
- 原子力発電、火力発電依存から脱却、省エネと再生可能エネルギーの導入を進め自然エネルギー社会を目指します



# てらさき雄介

**泉** 立憲民主党は「生活安全保障」というキャッチフレーズで参議院選挙に向けて、生活第一の政治を訴えています。安全保障という、国のレベルの話という語感があります。それだけではない。国民の皆さんの一人ひとりの生活、暮らしを支える安全保障が、いまこそ必要であることを訴えています。

**泉** 立憲民主党はどうもあたまでっかちに見られていて、国民の身近な存在になりきれていないのではないかと感じます。てらさきさんの現場力、国民によりそう問題解決力が立憲を変えるためにもどうして必要です。ぜひ国会で会いましょう。お待ちしています。

国政を改革しなければならぬと決心したのは、そのためです。国の制度はもとも国民の皆さんのためのものです。それが国民の皆さんを苦しめている矛盾をなんとかしても打ち破りたいと思います。



人が人を動かし、人が人のために動くのが政治。一人ひとりの命のために、暮らしと生活、未来のためにこそ政治はあるべき。てらさき雄介は誰よりもあなたのことを想う政治家です。

立憲民主党代表 泉 健太



党幹事長 衆議院議員 西村ちなみ

今、未来への不安が広がり若い人たちが夢や希望を持ちにくくなっています。

これは個人の問題ではなくて構造的な問題、政治の失敗です。若い人たちが夢を持って活躍できるようにしたい。誰にも居場所と出番のあるそういった社会をしっかりとつくることを目標にしています。

今、政治と生活がかけ離れている、そう思っておられる方が多いと思います。てらさきさんは自治体議員としての経験がとて長い、まさに政治と生活をつなぐことができる方。

私は、国政でてらさき雄介さんだからこそできることがたくさんあると思っています。



党政務調査会長 衆議院議員 小川淳也

私が言うのもなんですが、やっぱり選挙は厳しい方がいい。楽な選挙を戦っている立派な政治家はあんまりいないんです。厳しい選挙で、いろんなところでもみくちゃになって、踏まれても踏まれても、そこから起き上がってくるような、がんばりの結晶として良い政治ができる。2世3世ではダメなんです。てら

さきさんは、戦いを乗り越えて、次世代のための政治を目指してもらいたいです。新しい国政を拓けてらさき雄介さんに大いに期待しています。



党代表代行 衆議院議員 逢坂誠二

民主主義の原点は自治にあります。地方自治という行政だけではなく、地域のコミュニティや自治会の活動など含め、地域には地域の自治がある。それが非常に大事です。

実は霞が関や永田町に答えがあるわけじゃないんですよ。真実は国民の生活の身近なところにはないんです。だから自治の現場を知っている人が国会に来れば、これは即戦力です。

てらさきさんには住民に身近な課題解決のために全力でいのしし(てらさきさんは亥年)のように突進していただきたいです。



党国会対策委員長 衆議院議員 馬淵澄夫

強い野党になるためには人材のポートフォリオが重要です。政策通も必要だし、発信がうまい人、交渉力のある人など、それぞれの分野で強みのある人材が必要です。てらさきさんは、県議会で議員団長をされてきたリーダーシップのある政治家です。野党をまとめるとともに自民党会派と野党会派でせめぎ合いをしながら、条

例も予算なんか特にそうだと思いますが、擦り合わせに苦労されたんじゃないかと思えます。てらさきさんのそうした経験と力は貴重です。与党との交渉を担う国会対策のメンバーにも入ってもらいたいなあ。



衆議院議員 長妻昭

立憲民主党は厚生労働分野、社会保障分野が非常に強い。これがウリの政党です。厚生労働分野のスペシャリストである、てらさきさんに加わっていただいて、その力をさらに高めていきたい。

日本の最大の問題は、格差が大きくなり格差の壁によって一人ひとりの能力や持ち味が潰されている点にあると思います。日本はこんなもんじゃない。もっと良くなる。日本を発展させることができる。それが立憲民主党なんだと、その神髄を理解していただいているてらさきさんに、何としても国会に来て、一緒に仕事をしてもらいたいです。



参議院議員 蓮舫

生活に身近な地方議会で市民の声を代弁していると、壁にぶち当たることがあると思います。法律をはじめとする制度であったり、予算やその使い勝手であったり、あるいは省庁がそれぞれの判断で決める政省令であったり、こういったモノに縛られる自治体の行政や議会には限界がある。

これまでは、例えば衆議院では中谷一馬さんがいて、参議院では牧山ひろえさんがいて、その部分でつながってたんだと思うんですね。今度はその現場を知っている、てらさきさんご自身が直接、参議院に来る。強力な即戦力だと思っています。



衆議院議員 青柳陽一郎

2017年10月立憲民主党ができて、我々は厳しい選挙を戦い、何とか当選しました。そこから立憲民主党を全国政党にしていこうと2018年1月、立憲民主党の神奈川県組織を作りました。5人の衆議院議員と2人の地方議員でスタートしましたが、その2人の地方議員のうちの1人がてらさきさんだったのです。

そこから今日まで4年間共に党勢拡大に汗をかいてきた。いま、神奈川県立憲民主党は、全国の三大県連のひとつになり100人以上の地方議員、国会議員を擁する組織になりました。その功労者がてらさき雄介さんなんです。



衆議院議員 中谷一馬

立憲民主党は政府の提出法案に8割は賛成しているんです。野党だからといってなんでも反対しているわけではありません。国民のために必要な法整備には修正案をだしたり、附帯決議をつけたりしながら積極的に協力しています。それとともに、過去4年間で合計165本の法案を独自に提出しています。そうした国会

のリアルな状況を国民の皆さんに届けられるよう、てらさきさんとは政策の中身をつくることから、国民の皆さんに発信するところまで一緒にできたらと思います。てらさきさんは、本当にいい人。困っている人がいると放っておけない、そんな優しい人柄の持ち主です。



衆議院議員 山崎誠

てらさきさんから、今までどんなことをやってきたのか伺う機会がありました。その時にお聞きした話がとても印象的だった。てらさきさんは県民の皆さんと接してきた一つひとつのストーリーを目に浮かぶ物語のように語ってくれました。駅のホームドア設置の話、ホームレスの話、障がいのある

方の話、企業経営者の話など、県民の皆さんがどんな思いを抱いているかをしっかりと受け止めようとしてきたからこそできる話だったと思うのです。私は、それがてらさきさんの持っているすごさになって感じています。てらさきさんは言葉だけではなく本当に国民によりそう政治のできる人です。

立憲にはててらさきさんがいる。

対談動画はこちらから  
てらさき雄介チャンネル

